



あ・そうかい通信

活発化する @ 活動！

@活動が俄然、活発化している！

も六月にスタートした。

二年目に入った、我が「あ・そうかい」だが、五月の例会で@活動の活発化に向けたアンケートが実施され、その結果（左表参照）に基づいた運営委員のリードがここ

以外でも会員が気軽に立ち寄れる場所と機会を定期的に設けることを目的としている。会場はやまゆりのサロン。月一回、始まりは夕刻から。軽く一献傾け合うもよし、よ

もやま話に花を咲かせるもよし、相談事もよしという趣旨。そこで提案だが、アンケート結果で希望者が少なかつたみなさん！ @サロンも活用して同好の士を募り、その実現化を目指せばいかが？

とわたしもやりたい！という人が見つかるはずだ。

また新たに@サロン（仮称）

また新たに@サロン（仮称）

暑気払い

7月28日の宵、「やまゆり」に笑顔があふれた。暑気払いの会には36人が参加。飲み物に料理も盛りだくさんで会話ははずみ、大盛り上がり一夜となった。夏らしいアロハや浴衣も目立つ中、注目を集めたのは井口前会長がまとめたイナセなハッピー。ハッピーはその後、会に寄贈され、さっそく新出会長が着用した。

魚眼・複眼

大橋巨泉が亡くなった。ザ・ピーナツ、永六輔と、われわれを楽しませてくれた昭和を代表するメンバーが次々と亡くなっていくのが寂しい。戦後70年、生活スタイルは「十人一色（画一化）」から「十人十色（差別化）」そして「一人十色（個性化）」へと推移した。そんな生き方をしたのが大橋巨泉だったろう。

彼は言う「生き生きとした老年期を過ごす決定的なポイントは、社会においてある程度の複雑さを伴う活動を、認知能力を使い、自分で選択しながら実行していくこと。ところが生真面目で現役の時の呪縛がとれていない人が多く、えてして真面目に遊びがちである」と。

我々は、不良かな、真面目かな？

分科会への参加希望についてのアンケート結果

分科会名称	希望者数
@グルメ	30
@カラオケ	10
@あるこう	28
@ふおと	11
@落研	10
@ぱーさんかい	12
@日本舞踊	4
@テニス	7
@卓球	8
@麻雀	4
@大人の社会・施設見学	5
@ボウリング	1
@ジャズ鑑賞	2
@自転車ツーリング	2
@温泉	1
@ラフターヨガ	3
@吹き矢	1
@NHKアーカイブス	1
@外国人・文化と親しもう	4
@雑談会	3
@The ENKAI	1

「一人で見るとはただの夢
みんなで見る夢は現実になる」

ジョン・レノン



これからは、会の象徴として歴代会長が身に着ける機会が増えそう。

【佐藤次郎】

